

Akatake Times

新型コロナウイルスの影響で、不要不急の外出を避ける日々が続いています。行動が制限される状況ですが、考え方を換えれば、身近なものを見つめ直す良い機会とも言えます。家族と共に過ごす時間が増えることで新たな気づきがあったり、近所を散歩する時に普段は目も留めなかった草花の美しさを感じたりできるかもしれません。こんな時だからこそ、そうした再発見を楽しみながら日々を過ごしてみたいはいかがでしょうか。



『春の訪れ』

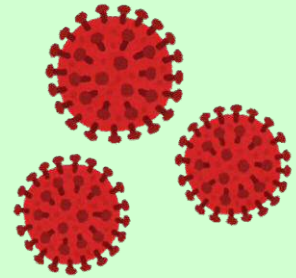


木々や花の彩りが美しい季節になりました。
上の写真は、2月にイチゴ狩りに行った時のものと、4月に妻が職場で撮影した花々です。
世間はウイルスの話でもちきりですが、花々は変わらず私たちに美しい色と春の香りを届けてくれています。
花見といった行楽は控えなければなりません、窓から見える景色でも、冬を越えた木々の力強さを感じます。
私も負けられないように、こういう時だからこそ根を張り地を固め、力を蓄えておこうと思います。

撮影日時：2020年 2月・4月 写真と文：技術部 設計2課 相磯さん



なんとも無粋な招かざる客と共にやってきた今年の春。
春には罪はないものの、愛でる余裕が人々にはない。来年は倍した良き春を迎えたいものだ。
閉塞感がいつぱいの経済状況は、日本国内のみならず世界に新型コロナウイルスと同様に
広がっている。当社は機械装置の受注生産を生業にしていることが、この厳しい事態でも
幸いている面があると思う。
ただ、社員の健康と顧客の要望が相反することがあり、経営判断を交えての決断は苦慮する。
大地震で寝食もままならない事態よりはまだ良しとし、持久戦で原理・原則を守り抜き終息を
待つしかない。
出張もおぼつかない事態だが、在社時間を利用して日頃できないことをやる、
社内コミュニケーションで会社を活性化するなど良いチャンスでもある。
意識を変え、やり方を変えて、来る50期に向けて頑張ろう！



◆4月も新型コロナウイルス

■4月7日に7都府県に発令された緊急事態宣言が、4月16日に
全都道府県に発令となった。新型コロナウイルス感染の拡大が止まらない。
ゴールデンウィークをいかに乗り切るかが最大の課題となろう。
■エコノミストのリチャード・クー氏は、世界に拡散した要因を3つ挙げている。
1つ目が財政懸念による病院のベッド数の削減。2つ目が政府当局やWHOが新型ウイルス感染を
軽視した。3つ目として新型コロナウイルスが中国で出現しただけでなく、その予防や治療に不可欠の
マスクも防護服も人工呼吸器もその大半が中国製であった。
中国の輸入に頼っていた国々は、感染拡大と医療崩壊に拍車をかけた。
■世界各国には優れた人財が数多くいて、科学がこれだけ進化しているのに、何故拡散を防げ
なかったのかと訝しむのは私だけだろうか？
■国内に目を向けてみると、毎日頭を過ることがある。何か・・・感染防止対策を政争の道具に使う
愚を許せないということ。
今こそ、与野党一致協力して国難を乗り切るべきなのに、その覚悟が無いのは誠に残念至極。
所謂“誠に遺憾に存じます”・・・の極みである。
思うに近年の政治は仲良しクラブでワイガヤの感が強く、失敗しても責任を取らない。
命がけで利権にしがみつくと。命かけて国民のためにやる政治家を私は知らない。
いい会社づくりに我々民間人は奔走している。政治家はいい社会づくりに命を懸けてほしい。

◆地震・雷・火事・親父

江戸時代の瓦版にも掲載されていたとされる文言である。
怖いものを順に挙げているゴロの良さで、私も幼いころから知っているものだ。
が、近年は親父の権威も地に落ちたものであるから、これを次のように変えるのはどうだろうか。
『地震、津波、洪水、感染症(ウイルス、細菌)、噴火・・・』というように。
いつ、なんどき発生するか未明だが、いつ発生してもおかしくないものばかり、怖いものばかり。

◆台湾の感染対策成功例

●今回の感染問題で人々の信頼を勝ち取った台湾の対応を記録しておく。
2360万人、九州よりやや小さい面積の台湾。
●台湾は前回、2003年のSARS発生時にひどい目に合ったという経験があった。
●台湾はWHOの参加国ではないので、全てを自前で対応しなければならないという
危機感があった。
●外国からの入国者に対し、罰金を科す管理をした。
●テレビの画面に赤い字でテロップを流し、罰金を科す情報をしっかり発信した。
●マスクは政府が一元管理し、どの薬局に在庫があるかスマホアプリで確認できるようにした。
●マスク販売は健康保険カードを利用した実名制とし、コンビニやネットで予約して購入
できるようにした。
●検査キットは、自前で開発したものとドイツ製のものを準備し、検査能力不足から来る国民の
不安拡大はほとんど発生しなかった。
●幸運だったのは、中国政府が昨年後半から総統選挙で盛り上がる台湾に圧力をかける目的で、
中国からの団体観光客が台湾を訪れることを禁止したことだ。



◆食のハナシ

■我が家の食卓にもときどき卵焼きが出てくる。
幼いころの味がする卵焼き、においがする卵焼きは大好き。
サバの味噌煮、ピーマンとナスの味噌炒めもしかり。
これらがあると、他におかずが無くても1か月は大丈夫？
小学校教師と農作業で多忙だったお袋の数少ない得意料理だったと思う。
まさに“おふくろの味”である。

■幼いころの“食”を思い出すと、ざりがに、つぼ(タニシ)もうまかった。
また、生家の裏には牛淵川という川が流れていて、子供の頃は生活の場だった。
夕方10mほどの長さのタコ糸にいくつもの針をつけ(エサはドジョウ)河岸に沈めておく。
翌朝タコ糸を上げに行くと鰻が針にかかっているという次第。
鮒(フナ)釣りも面白かった。竿は自前、適当な竹を切って、買ってきた釣り糸と針、
オモリ、ウキを付けるという単純な仕掛け。鮠(ハヤ)も良く釣れたものだ。
これら川の恵みは当時の貴重なタンパク源となっていた。
そうそう、たしか叔父が買ってきて、フライパンで焼いてくれたと記憶しているが、牛肉という代物を
高校2年のころ初めて口にしたときは、さほど美味しいとは思わなかった。
齢を重ねたわけでもないのだが、食は素朴さが一番だ。

二宮尊徳の言うところの「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である」は、
新型コロナウイルス拡散要因を振り返ると、この言葉が当てはまるのではないかと思っている。

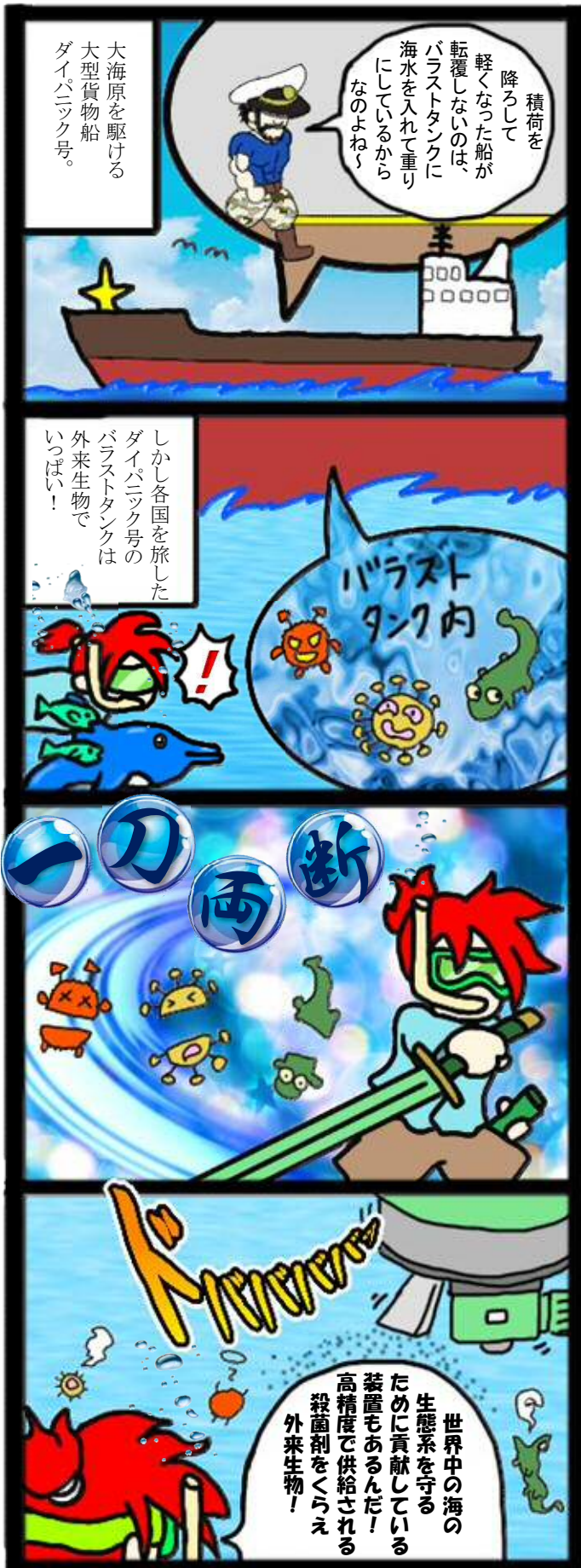
ご安全に！

代表取締役社長 赤堀 肇紀



一舟のちかく レッドサムライ

～ サムライの技は陸だけのものだと思いませんか？ の巻～



Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2020年2～3月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ❖ シンビジューム
- ❖ ストック
- ❖ リキュウバイ
- ❖ スターチス

健保から表彰されました！

静岡県東部機械工業健康保険組合から、「優良事業所」の表彰をいただきました。以下に、組合からの案内を紹介します。

過日行われました保健事業委員会及び理事会において選考が行われた結果、令和元年度の優良事業所に貴事業所が選定されました。優良事業所の選考基準については、健康保険組合の事業運営への理解・協力が顕著であり、企業内の健康管理に積極的に取り組んでいる点が評価された事業所となっております。

